総社市立秦小学校 **学校だより**

令和５年度　第８号
５月８日（月）

☆　責　任　とは　☆

５月の朝礼の話は『責任』です。難しい言葉です。重く、強い言葉です。子どもたちにどう言って伝えようかなと考えてきました。登校班のリーダー・副リーダー。委員会活動委員長・副委員長。縦割り班掃除リーダー・・・と６年生・５年生はすでに責任だらけでたいへんです。

「ここは高学年にインタビューしてみようか、」とも考えましたが、いや待てよ。『責任』があるのは高学年だけでなく、１年生から6年生まで、子どもたちはみんな、いろいろな場面で責任があるから頑張っているのでは。

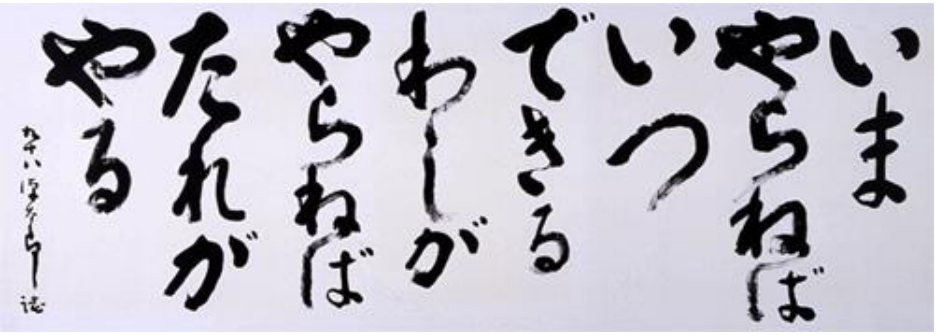
「学級の係活動や当番活動がある人？」とたずねると１年生もきちんと手を挙げました。〇〇係として、〇〇当番としてすでに学級の中で役割を持っているのです。

５月　品格教育目標

【今やらねばいつできる。わしがやらねばたれがやる】

井原市出身の彫刻家、平櫛田中さんの言葉です。

「*60、70は、はなたれこぞう*」と言って109歳の晩年まで活躍されました。責任を言い換えてみました。それは『継続』することです。子どもたちに見せたのは田中さんが２０年をかけて作った「鏡獅子」です。誰かのために役割を続けること、自分でやろうと決めたことをあきらめず継続し続けること。継続は力なりとも言いますが、子どもたちが毎日きちんとできていたり、忘れることなく責任を果たしたりしている姿をたくさん取り上げてほめていきたいと思います。「お家で自分のお手伝いやお仕事が決まっている人？」と聞くと「玄関はき」とか「テーブルの食器ならべ」などいろいろお手伝いを続けているという声もたくさん聞くこともできました。



「自分がやらなければ」という強くたくましい言葉は、毎日継続してきたことが自信となり土台となって生まれてくるように感じます。子どもたちをみんなで応援し励まし続けましょう。　※画像と書は平櫛田中美術館ホームページより引用しました。